

## 米国・欧州主要国の景気概況

< 2006年3月号 >

### 【目次】

. 米国経済	
・ 景気概況：景気は堅調に推移	... p.1
・ バーンキ議長の講演	... p.2
・ 主要経済指標	... p.3
. 欧州経済	
1 . ユーロ圏：景気は回復。追加利上げの見方が増える	... p.4
2 . 英 国 ：景気は緩やかに回復。政策金利は据え置きの見通し	... p.7



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

### 調査部

【お問い合わせ先】海外経済班

細尾 (E-Mail : hosoo@murc.jp)

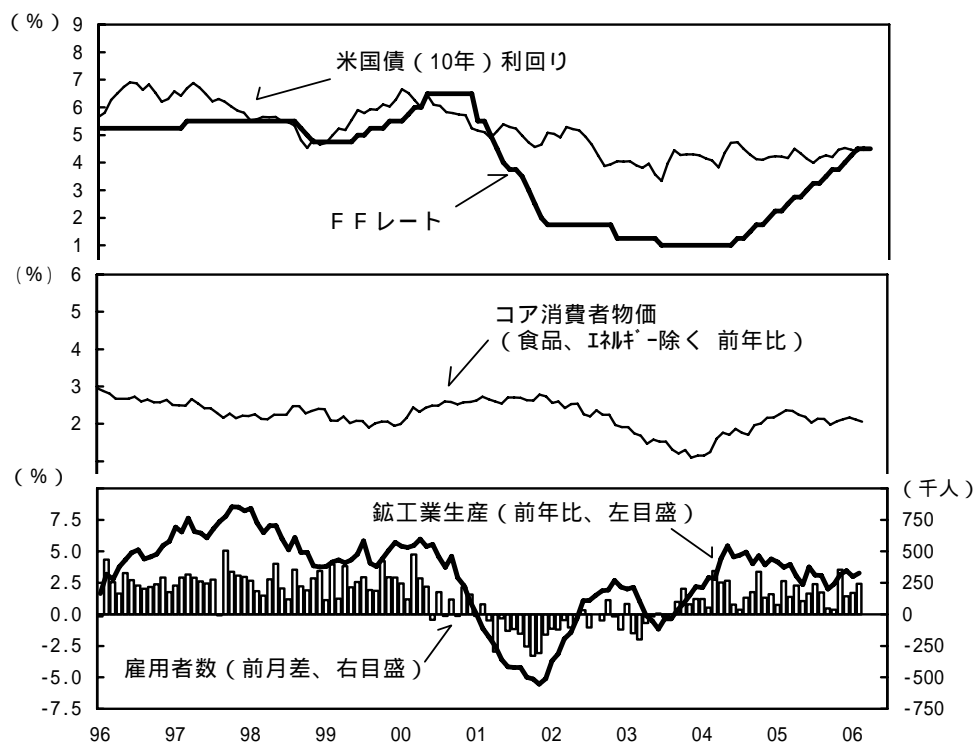
西垣 (E-Mail : hideki.nishigaki@murc.jp)

本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。

## . 米国経済

**【景気概況】**

- ・米国景気は堅調に推移している。家計部門では、2月の非農業部門雇用者数が前月比24.3万人増と増加ペースが加速し、雇用環境の改善が続いた。2月の小売売上高は同1.3%減となったが、これは1月が暖冬の影響などにより急増した反動減とみられる。また、依然歴史的な高水準を維持している住宅着工件数も、1月の暖冬による急増の反動で2月は212万戸（年率）に減少した。
- ・企業部門についてみると、2月の鉱工業生産は同0.7%増加した。公益部門（電力・ガスなど）の生産が1月は暖冬により低下していたが、2月は反動で急増したことが全体を押し上げた。製造業部門の生産は横ばいであった。また設備稼働率も公益部門が牽引し81.2%に上昇したが、製造業部門はほぼ横ばいとどまった。もっとも水準自体は高く底堅い動きが続いている。企業の景況感を示すISM製造業景況指数は2月が56.7と4ヵ月ぶりに改善し、景気の拡大・縮小の分岐点となる50の水準を33ヵ月連続で上回った。
- ・海外部門については、2005年10-12月期の経常赤字が2,249億ドルと過去最大を記録した。2005年通年ベースの赤字額は前年比20.5%増の8,049億ドルとなった。景気の好調と原油価格の上昇を背景とした輸入の伸び拡大から4年連続で過去最大を更新し、初めて8,000億ドルを突破した。
- ・物価については、1月の消費者物価（食品とエネルギーを除くコアベース）上昇率が、前月比0.1%の伸びにとどまり、インフレ率は落ち着いている。
- ・3月27、28日に開催される予定のFOMC（米連邦公開市場委員会）では、FFレートを0.25%ポイント引き上げ4.75%とすることが見込まれている。



### バーナンキ議長の講演

- ・ F R B (連邦準備制度理事会) のバーナンキ議長は 3 月 20 日、「利回り曲線と金融政策に関する考察」と題した講演を行なった。
- ・ F R B は 2004 年 6 月以来、F O M C (連邦公開市場委員会) を開催するたびに 0.25% の利上げを実施しており、利上げは合計 14 回、3.5% に及んでいる。こうした連続利上げにもかかわらず、長期金利は 4% 台の歴史的な低水準で安定しており、利回り曲線は、長短金利が逆転する「逆イールド」状態が生じている。
- ・ バーナンキ議長は講演の中で、長期金利を低めに抑制している 4 つの要因を指摘した。第 1 に、将来の経済変動に対するリスクプレミアムの低下である (= 成長率やインフレ率の変動が小さくなり将来に対する不確実性が低下。議長はこれを「偉大なる安定 (Great Moderation)」と表現)。第 2 にアジアや中東での貯蓄過剰、第 3 に年金基金の長期債需要の増加、第 4 に長期債の発行量の減少である。これらの 4 つはいずれも債券価格の上昇 = 利回り低下の要因として作用する。
- ・ また、長期金利と金融政策の関係について 2 つの見解を示した。1 つはリスクプレミアムの低下により長期金利が低下した場合、需要刺激効果を抑制するための適正な政策金利の水準は通常よりも高くなるとの見方である。もう 1 つの見解は、貯蓄過剰が長期金利低下の主たる要因であれば、適正な政策金利の水準は低下するとの見方である。
- ・ 今回の講演では、当面の金融政策についての直接的な示唆はなかった。もっとも、リスクプレミアムの低下が長期金利を低下させる場合には、適正な政策金利の水準は通常よりも高くなるとした見解によれば、経済指標が景気減速の動きを示さない場合、年央以降も利上げが継続される可能性も否定できないことになる。今のところ利上げはあと 1、2 回程度との見方が大勢となっているものの、リスクシナリオとしては景気の堅調さにより利上げが長期化するケースも考慮する必要があるだろう。

表 . バーナンキ議長講演の主な論点 ( 3/20 )

長期金利が 低位安定し ている要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来の経済変動に対するリスクプレミアムの低下</li> <li>・ アジアや中東での貯蓄過剰</li> <li>・ 年金基金などによる長期債への需要増加</li> <li>・ 長期債の供給量の減少</li> </ul>
長期金利 の低下と 金融政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主としてリスクプレミアムの低下が長期金利を押し下げている場合 需要抑制のため政策金利は通常より高くする必要</li> <li>・ 主として貯蓄過剰が長期金利を押し下げている場合 適正な政策金利の水準が低下</li> </ul>

( 出所 ) 講演原稿より三菱UFJリサーチ & コンサルティング抄訳

## 【米国経済指標】

景気	経済指標	2004	2005	05/2Q	05/3Q	05/4Q	05/10	05/11	05/12	06/1	06/2
全般	実質GDP(前期比年率)	4.2	3.5	3.3	4.1	1.6	-	-	-	-	-
	I S M製造業指数	60.5	55.5	53.2	56.0	57.0	58.1	57.3	55.6	54.8	56.7
	I S M非製造業指数	62.5	60.1	60.2	59.6	59.8	59.2	59.3	61.0	56.8	60.1
	景気先行指数(CI)	7.4	2.3	0.2	0.4	1.0	0.8	0.9	0.3	0.5	-0.2
	企業収益(税引前)	13.0		2.5	-1.4		-	-	-	-	-
個人消費	消費者信頼感指数(1985=100)	96.1	100.3	102.3	98.9	95.8	85.2	98.3	103.8	106.8	101.7
	小売売上高	7.3	7.5	2.7	1.7	0.5	0.2	0.9	0.3	2.9	-1.3
	同(乗用車を除く)	8.2	8.6	2.4	2.5	1.9	0.7	-0.3	0.1	2.6	-0.4
	自動車販売台数(年率、100万台)	16.83	16.87	17.21	17.92	15.85	14.70	15.70	17.15	17.58	16.55
	名目可処分所得	6.1	4.3	0.9	0.6	2.4	0.5	0.3	0.5	0.5	
設備投資	個人貯蓄率	1.7	-0.4	-0.3	-1.6	-0.2	0.0	-0.2	-0.4	-0.7	
	コア資本財出荷	11.6	10.3	0.3	0.8	3.7	1.7	0.5	3.8	0.4	
	同(前年比)			10.7	7.6	8.7	7.6	10.2	8.4	6.6	
住宅投資	コア資本財受注	9.5	10.7	0.5	1.0	2.9	1.1	0.1	4.9	0.1	
	情報機器出荷	12.2	9.4	0.7	0.7	2.6	2.5	-0.1	2.2	0.2	
	新設住宅着工戸数(年率、万戸)	195.0	207.2	204.4	210.1	205.9	205.1	213.6	198.9	230.3	212.0
輸出	同(前年比)	5.2	6.3	6.3	6.4	4.3	-0.5	18.2	-3.0	5.3	-4.8
	着工許可	5.7	3.1	1.5	2.9	-2.9	-5.2	2.9	-4.1	6.8	-3.2
	セクタール名目	13.0	10.5	4.8	0.8	2.9	2.1	2.8	2.7	2.9	
生産	セクタール実質	9.1	7.0	3.9	0.3	2.4	1.6	3.5	3.1	2.1	
	I S M輸出向け受注指数	57.2	55.6	54.5	55.9	55.8	55.2	57.9	54.3	58.5	57.0
	鉱工業生産	4.1	3.2	0.4	0.3	1.3	1.1	0.9	1.0	-0.3	0.7
雇用	同(前年比)			3.1	2.7	3.0	2.4	3.2	3.5	3.0	3.3
	設備稼働率(%)	78.6	80.0	79.9	79.8	80.5	79.9	80.5	81.2	80.8	81.2
	企業在庫率	1.30	1.27	1.28	1.26	1.25	1.25	1.26	1.25	1.24	
輸入	非農業部門生産性	3.4	2.7	2.4	4.2	-0.5	-	-	-	-	-
	失業率(%)	5.5	5.1	5.1	5.0	4.9	4.9	5.0	4.9	4.7	4.8
	雇用者増(非農業)(千人)	175	165	167	171	194	37	354	145	170	243
国際収支	同(製造業)(千人)	0	-6	-12	-11	-13	9	18	8	7	-1
	同(人材派遣)(千人)	13	14	6	6	12	3	40	12	-6	-7
	労働投入量(民間)	1.6	2.4	0.8	0.6	0.5	0.0	0.4	0.2	0.2	-0.1
物価	セクタール名目	16.9	13.7	2.6	3.1	5.1	2.5	-1.0	1.9	3.9	
	セクタール実質	11.4	6.4	0.1	0.4	3.7	1.9	0.6	2.4	2.7	
	同(前年比)			5.7	5.0	5.6	6.0	4.1	6.8	7.2	
財政	經常収支(10億ドル)	-668.1	-804.9	-196.9	-185.4	-224.9	-	-	-	-	-
	貿易収支(セクタール、10億ドル)	-650.9	-766.4	-182.4	-193.3	-208.4	-71.7	-68.0	-68.7	-72.1	
	貿易収支(BOP、10億ドル)	-617.6	-723.6	-172.7	-181.4	-197.4	-67.8	-64.5	-65.1	-68.5	
金融	生産者物価(最終財)	3.6	4.9	1.1	1.6	1.8	0.8	-0.4	0.6	0.3	-1.4
	消費者物価(コア)	1.8	2.2	0.5	0.4	0.6	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1
	同(前年比)			2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.1	2.1
	コアPCE物価指数(前年比)	2.0	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.8	
	雇用コスト(民間・未値)	3.9	2.8	0.6	0.8	0.8	-	-	-	-	-
	時間給	2.1	2.8	0.8	0.8	0.9	0.6	0.0	0.4	0.4	0.3
市場データ	同(前年比)			2.6	2.8	3.1	3.1	3.0	3.2	3.4	3.5
	I S M仕入価格指数	79.8	66.4	59.8	63.0	73.7	84.0	74.0	63.0	65.0	62.5
	財政収支(10億ドル)	-412.8	-318.5	45.2	-69.0	-39.8	-47.2	-83.1	11.0	21.0	-119.2
市場データ	M2(前期比年率)	4.5	4.2	2.5	4.4	5.1	5.3	3.9	5.1	11.6	3.9
	国際証券投資(ネット、10億ドル)	126.7	129.1	31.6	32.4	32.7	106.5	88.5	53.8	66.0	
	F Fレート(実効レート、%)	1.35	3.21	2.94	3.46	3.97	3.76	4.00	4.16	4.29	4.49
	10年物国債利回り(未値、%)	4.24	4.39	3.94	4.34	4.39	4.57	4.49	4.39	4.53	4.55
	N Yダウ指数(未値)	10,783	10,718	10,275	10,569	10,718	10,440	10,806	10,718	10,865	10,993
市場データ	ドル実効レート(Broad, 97.1=100)	113.56	110.81	110.66	111.21	112.00	111.70	112.51	111.79	110.18	110.46
	同(前年比)	-4.6	-2.4	-4.4	-3.1	1.3	-1.1	2.3	2.7	0.7	0.7
	JOCインデックス	112.93	114.16	111.28	113.62	118.12	120.47	116.35	117.54	120.34	121.98

(注1) 原則として数字は季節調整済前期比(%)。  
 (注2) 雇用者増減数の年計数および四半期計数は月平均ベースに換算。  
 (注3) 10年債利回りはコンスタント・マチュリティー・ベース(FRB)  
 (注4) 財政収支の年次は会計年度(前年10月~当年9月)  
 (注5) 米商務省、米労働省、F R B、コンファレンス・ボード資料などより作成。

## ．欧州経済

## 1．ユーロ圏

- ・ 景気は回復している。2005年10-12月期の実質GDP成長率（1次速報）は前期比ベースで0.3%と前期から鈍化したものの、前年比ベースでは1.7%と前期から加速した。欧州委員会（2月20日）によれば、2006年の実質GDP成長率は前年比1.9%と予測されている。
- ・ 家計部門をみると、雇用環境や消費者マインドの改善テンポが鈍いものの、小売売上高（数量）が1月前年比0.9%増と伸びが加速するなど、消費の回復が続いている。
- ・ 企業部門についても、輸出の拡大などを背景に回復傾向にある。1月の鉱工業生産は、耐久消費財やエネルギー関連財の伸びが鈍化し、前年比2.5%増となったが、2月のユーロ圏景況指数は102.7と3ヵ月連続して上昇した。
- ・ 物価動向をみると、消費者物価上昇率は2月前年比2.3%と、前月から伸びが鈍化した。ECBが目標とする2%水準を上回る水準が続いている。
- ・ ECB（欧州中央銀行）は3月2日の定例理事会で、短期レポ金利を0.25%引き上げ、2.5%とした。市場では5月に追加的な利上げが実施されるとの見方が増えている。

【ユーロ圏の主要経済指標】

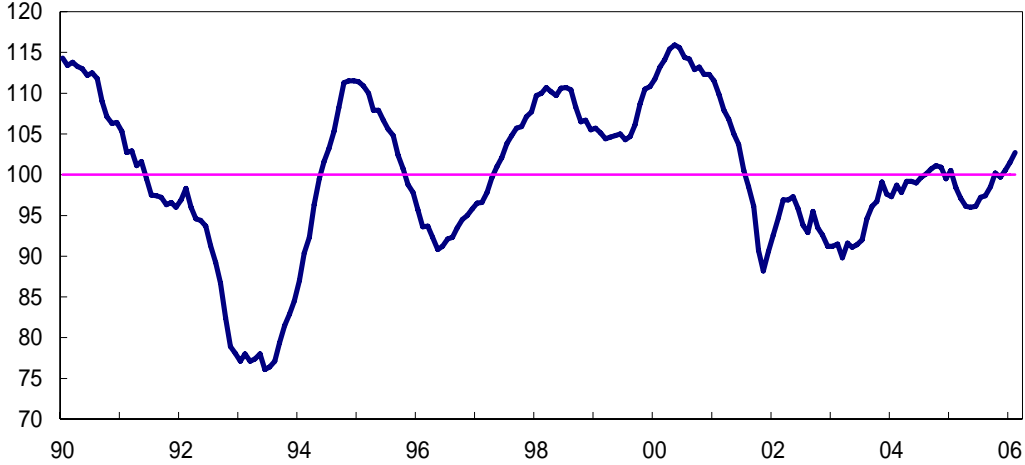
		03	04	05	05/	05/	05/	05/	05/10	05/11	05/12	06/1	06/2		
景気	全般	実質GDP* (上段：前期比)				0.3	0.4	0.7	0.3	-	-	-	-		
		(下段：前年比)	0.7	1.8	1.4	1.2	1.2	1.6	1.7	-	-	-	-		
		OECD景気先行指数	1.8	4.2	1.1	1.1	0.2	0.8	2.1	1.7	2.1	2.4	2.9		
	景況指数(95=100)*		93.6	99.4	98.1	98.7	96.1	97.7	100.1	100.2	99.7	100.5	101.5	102.7	
	需要サイド	消費	消費者信頼感指数*	-18	-14	-14	-13	-14	-15	-12	-13.0	-13.1	-10.8	-10.7	-10.1
			小売売上数量* (上段：指数)	102.7	103.7	104.8	104.8	104.5	104.8	104.9	105.0	104.9	104.9	105.7	
		(下段：前年比)	0.4	1.1	1.0	1.5	0.8	0.9	0.7	0.4	0.7	0.5	0.9		
		投資	新車登録	-18.3	2.5	2.1	4.2	3.0	3.8	-3.0	-1.3	-2.0	-5.9	6.1	2.1
			建設業	-0.1	-0.2	-0.2	-3.3	-0.2	1.0	1.6	-	-	-	-	-
		輸出	建設業信頼感指数*	-18	-14	-9	-11	-11	-9	-5	-6.7	-3.1	-6.0	-3.7	-4.6
	域外輸出金額		-2.3	8.9	7.1	3.4	6.1	9.6	8.9	6.6	10.5	9.6			
	供給サイド	生産	域外輸出数量*	1.1	8.2		2.4	3.1	7.8		3.5	7.0			
			鉱工業景況*	-11	-5	-7	-6	-10	-8	-6	-5.8	-6.5	-4.9	-4.2	-2.3
鉱工業生産* (上段：指数)		100.3	102.2	103.5	102.3	103.1	104.0	104.5	103.5	104.9	105.1	105.1			
(下段：前年比)		0.3	1.9	1.3	0.8	0.7	1.5	2.1	0.3	3.0	2.8	2.5			
製造業生産*		0.1	1.9	1.4	1.0	0.5	1.6	2.2	0.9	3.4	2.5	2.1			
設備稼働率(%)*		81.0	81.5	81.2	81.9	81.1	80.9	81.1	-	-	-	-	-		
雇用		雇用者数	0.3	0.7		0.8	0.8	0.7		-	-	-	-	-	
		失業率(%)*	8.7	8.9	8.5	8.8	8.6	8.4	8.3	8.3	8.4	8.3	8.3		
輸入		域外輸入金額	0.5	9.3	12.0	8.6	10.7	14.2	14.2	11.3	14.2	17.1			
		域外輸入数量*	3.8	5.8		3.0	3.9	4.8		4.4	3.5				
国際収支	経常収支(10億euro)	33.8	45.7	-28.8	3.6	-13.6	-3.8	-15.0	-7.5	-7.2	-0.3				
	貿易収支(10億euro)	69.6	71.5	23.4	5.8	11.2	7.5	-1.2	0.6	-0.9	-0.9				
物価	生産者物価	1.4	2.3	4.1	4.1	3.9	4.2	4.4	4.2	4.2	4.7	5.3			
	消費者物価	2.1	2.1	2.2	2.0	2.0	2.3	2.3	2.4	2.3	2.2	2.4	2.3		
	消費者物価(コア)	1.8	1.8	1.4	1.5	1.4	1.3	1.3	1.4	1.4	1.3	1.2	1.2		
金融	7ネーザライ(M3)	8.1	5.8	7.4	6.6	7.3	8.1	7.6	7.9	7.5	7.5	7.6			
	3ヶ月物銀行間金利(%)	2.33	2.11	2.19	2.14	2.13	2.13	2.34	2.2	2.4	2.5	2.5	2.6		
	10年物国債金利(%)	4.16	4.14	3.44	3.67	3.41	3.27	3.42	3.3	3.5	3.4	3.4	3.6		
	株価(DJ Euro Stoxx)	213.3	251.1	293.8	276.2	280.1	303.4	315.2	306.8	312.7	325.7	335.5	349.0		
	為替相場(ドル/ユーロ)	1.13	1.24	1.24	1.31	1.26	1.22	1.19	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2		
	名目実効相場	12.4	4.1	-1.4	0.9	0.7	-1.6	-5.1	-3.3	-5.5	-6.6	-4.8	-4.7		
	短期レポ金利(期末値)	2.00	2.00	2.25	2.00	2.00	2.00	2.25	2.00	2.00	2.25	2.25	2.25		

(出所) Datastream (注) 原則として数字は前年同期比; % \*は季調値。

< グラフで見るユーロ圏景気 >

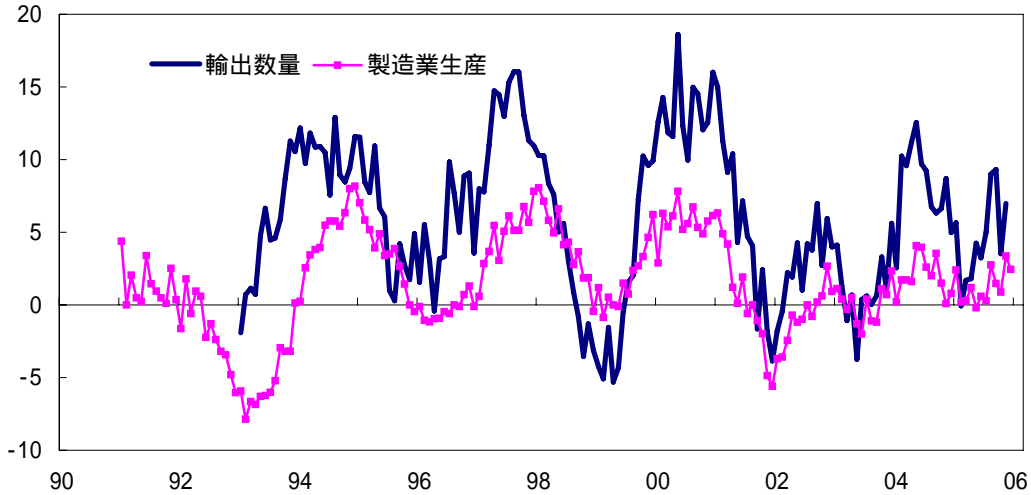
(長期間の平均 = 100)

ユーロ圏: 景況指数



(前年比, %)

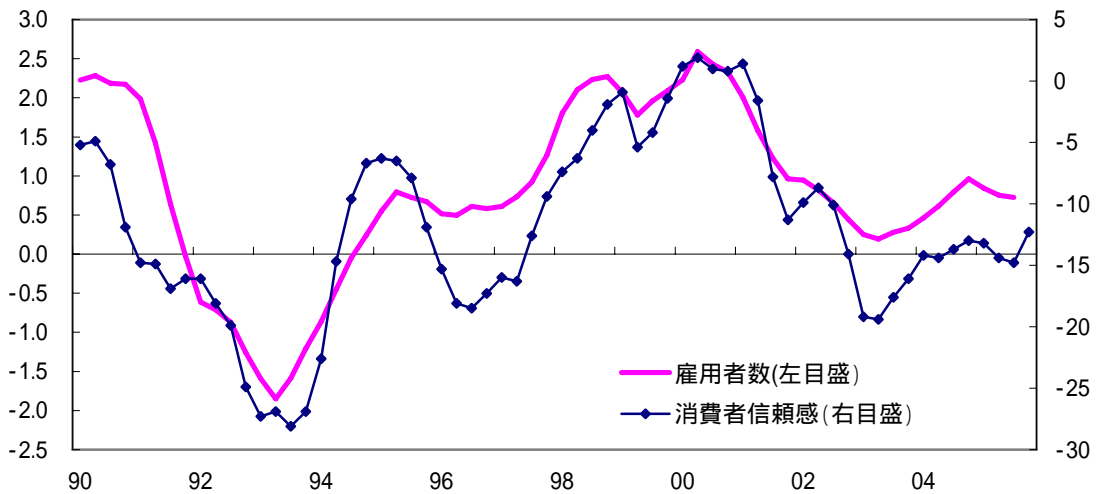
ユーロ圏: 輸出と生産



(前年比, %)

ユーロ圏: 雇用と消費者信頼感

(%)



(出所) Datastream

## &lt; ユーロ圏主要国の経済指標 &gt;

## 【ドイツの主要経済指標】

	03	04	05	05/	05/	05/	05/	05/10	05/11	05/12	06/1	06/2
実質GDP成長率* (上段: 前期比)				0.6	0.3	0.6	0.0	-	-	-	-	
(下段: 前年比)	-0.2	1.1	1.1	0.6	0.8	1.5	1.6	-	-	-	-	
OECD景気先行指数	2.3	5.4	1.1	0.8	-0.5	1.0	3.1	2.5	2.9	3.7	4.6	
IFO企業景況指数	91.8	95.4	95.5	95.1	93.0	95.4	98.6	98.5	97.7	99.6	101.8	103.3
鉱工業生産* (上段: 前期比)	99.5	102.5	106.0	1.1	1.1	1.4	1.4	0.9	-0.3	0.5	0.4	
(除く建設) (下段: 前年比)	0.4	3.0	3.4	0.1	4.6	3.3	3.8	1.1	5.4	4.9	7.3	
製造業受注*	0.7	6.1	6.2	4.4	3.1	7.4	9.5	10.0	13.4	5.5	10.9	
国内*	0.0	3.9	3.0	1.1	2.4	4.6	3.7	4.4	7.2	-0.2	5.7	
海外*	1.5	8.8	9.6	8.1	4.0	10.5	15.8	16.2	19.9	11.5	16.2	
設備稼働率(%)*	82.7	84.1	83.4	82.7	83.0	83.3	84.4	-	-	-	-	-
建設*	-4.4	-5.5	-5.3	-11.6	-5.1	-2.9	-1.3	-0.9	-1.4	-1.6	-9.2	
建設業信頼感指数*	-49	-48	-42	-49	-44	-40	-35	-35	-35	-36	-33	-29
消費者信頼感指数*	-19	-16	-14	-15	-15	-15	-10	-11	-12	-8	-6	-7
小売売上数量 (除く自動車)*	-0.4	1.5	1.6	2.2	2.2	1.5	0.2	0.6	0.6	-0.5	1.4	
新車登録	-0.5	0.9	1.7	-1.9	6.2	5.1	-2.8	3.0	-3.0	-8.5	11.3	-1.3
賃金 (月給、全産業)	2.1	1.3	1.0	1.4	1.1	1.2	0.7	1.2	0.3	0.9		
就業者数*	-0.9	0.4	-0.3	0.0	-0.3	-0.4	-0.4	-	-	-	-	-
失業者数 (千人)*	4383	4389	4861	4918	4942	4855	4729	4802	4748	4637	4700	4695
失業率(%)*	10.5	10.8	11.2	12.1	11.9	11.6	11.2	11.6	11.4	11.2	11.3	11.3
旧西(%)*	8.4	8.7	9.5	10.2	10.0	9.9	9.5	9.8	9.7	9.5	9.6	9.6
旧東(%)*	18.3	18.8	17.6	19.5	19.0	18.3	17.6	18.2	18.0	17.6	18.0	18.0
輸出金額*	1.9	8.9	7.8	6.8	4.7	9.7	9.9	10.3	7.6	11.7	10.4	
輸入金額*	3.0	6.6	9.0	6.8	8.1	9.1	11.8	12.0	6.2	17.5	15.5	
生産者物価 (鉱工業)	1.7	1.6	4.6	4.1	4.5	4.7	4.9	4.6	5.0	5.2	5.6	5.9
消費者物価	1.1	1.6	2.0	1.8	1.7	2.2	2.2	2.3	2.3	2.1	2.1	2.1
10年物国債金利 (%)	4.09	4.06	3.38	3.63	3.34	3.19	3.36	3.26	3.46	3.37	3.34	3.48
DAX株価指数	3198.3	3983.3	4678.1	4316.6	4399.1	4855.4	5133.1	4951.8	5092.5	5346.6	5494.0	5762.5

## 【フランスの主要経済指標】

	03	04	05	05/	05/	05/	05/	05/10	05/11	05/12	06/1	06/2
実質GDP成長率* (上段: 前期比)				0.3	0.0	0.7	0.2	-	-	-	-	
(下段: 前年比)	0.9	2.1	1.4	1.7	1.0	1.7	1.2	-	-	-	-	
OECD景気先行指数	0.8	5.7	0.8	1.9	-0.2	-0.1	1.6	1.1	1.7	1.8	2.0	
INSEE企業生産見通しDI*(%)	-29	5	-12	-4	-23	-19	-1	-2	0	-2	0	-3
企業収益 (10億euro、年率)*	526	553						-	-	-	-	-
鉱工業生産* (上段: 指数)	99.5	101.2	101.2	101.5	101.0	101.5	101.0	99.1	102.1	101.9	102.2	
(除く建設) (下段: 前年比)	-0.4	1.7	0.0	0.7	-0.3	0.5	-0.8	-3.0	1.1	-0.4	0.1	
製造業稼働率(%)	84.8	84.1	83.2	84.0	84.6	82.5	81.8	-	-	-	-	-
建設*	0.4	1.9		-2.2								
建設業信頼感指数*	-8	3	9	11	7	8	12	12	13	10	15	16
消費者信頼感指数*	-24	-14	-16	-15	-19	-15	-16	-15	-16	-16	-15	-13
小売売上数量* (上段: 指数)	105.3	107.1	107.4	107.5	107.2	107.6	107.2	107.1	107.4	107.2		
(下段: 前年比)	1.0	1.7	0.3	0.8	0.2	0.2	-0.4	-0.4	-0.1	-0.5		
新車登録	-6.3	0.2	2.7	3.8	7.2	2.4	-3.2	-5.8	-2.3	-1.4	2.7	0.6
家計工業品消費 (除く自動車)*	1.8	3.2	3.0	3.3	1.7	4.4	2.4	2.1	3.1	2.1	2.1	4.5
就業者数*	-0.4	0.1	0.3	0.4	0.2	0.3	0.3	-	-	-	-	-
失業者数 (千人)*	2763	2746	2622	2761	2732	2673	2622	2661	2641	2622	2628	
失業率(%)*	10.0	10.0	9.5	10.2	10.1	9.8	9.5	9.7	9.6	9.5	9.6	
輸出金額*	-2.5	5.7	4.6	4.1	3.2	5.3	5.6	1.9	4.5	10.5	8.0	
輸入金額*	-0.9	7.5	9.4	11.1	8.9	8.2	9.4	6.6	11.4	10.3	13.0	
生産者物価 (鉱工業中間財)	0.9	2.1	3.0	3.0	2.9	3.1	3.0	3.0	2.9	3.2	3.7	
消費者物価	2.1	2.1	1.7	1.6	1.6	1.9	1.6	1.8	1.6	1.5	2.0	1.9
10年物国債金利 (%)	4.13	4.10	3.40	3.65	3.37	3.21	3.39	3.29	3.49	3.37	3.34	3.49
CAC40株価指数	3119.1	3685.3	4269.5	3974.3	4091.1	4434.7	4571.0	4471.4	4533.9	4703.2	4839.7	4976.6

## 2. 英国

- ・景気は緩やかに回復している。2005年10-12月期の実質GDP成長率(速報値)はサーブスの拡大を背景に前期比0.6%と前期(0.5%)から加速した。2006年1月のOECD景気先行指数はほぼ前年水準まで回復した。
- ・家計部門は、消費者マインドや雇用環境の改善が遅れているが、個人消費は緩やかに回復している。2月の小売売上は前年比2.1%増と前月から上昇し、新車登録も前年比1.4減と減少幅が縮小した。企業部門については、輸出の拡大が続いているものの、製造業生産は1月も前年比1.4%減と引き続き前年水準を下回った。
- ・物価動向をみると、2月の消費者物価上昇率は前年比2.0%と、BOE(イングランド銀行)の目標値(同2.0%)と同じとなったが、前月から0.1%ポイント高まった。製造業生産者物価上昇率は2月が同2.9%と、前月と同じだった。
- ・BOEは、3月9日に開かれた金融政策委員会(MPC)で、政策金利を現行水準(年4.5%)に据え置くことを決定した。据え置きは2005年9月以来7ヵ月連続。市場では経済指標が一様でないことなどから、当面据え置きが続くとの見方が多い。

【英国の主要経済指標】

		経済指標												
		03	04	05	05/	05/	05/	05/	05/10	05/11	05/12	06/1	06/2	
景気	全般	実質GDP(上段:前期比)				0.2	0.5	0.5	0.6	-	-	-	-	-
		(下段:前年比)	2.5	3.2	1.8	2.0	1.6	1.8	1.8	-	-	-	-	-
		CBI企業先行き見通し(%)	-17	7	-19	-22	-15	-16	-21	-	-	-	-	-
		OECD景気先行指数	-0.7	2.8	-0.8	-1.0	-1.3	-0.2	-0.6	-0.6	-0.7	-0.4	-0.1	
		企業収益(税引き前)	7.7	7.2	0.6	5.3	1.1	-2.7	-1.1	-	-	-	-	-
	需要サイド	消費												
		消費者信頼感指数*	-6	-3	-2	1	-2	-2	-4	-4	-4	-4	-4	-2
		小売売上*	3.3	6.0	2.0	2.8	1.5	0.8	2.8	1.6	2.2	4.6	1.3	2.1
		新車登録	0.6	-0.5	-5.0	-7.2	-4.1	-4.0	-4.0	-10.8	-7.9	8.7	-13.3	-1.4
		投資												
		住宅着工	7.2	10.1		-3.5	2.2			-	-	-	-	-
	輸出	新規建設工事受注*	-4.6	7.2	6.5	-3.2	8.9	9.9	10.9	17.9	9.5	5.5	33.6	
		輸出*	1.1	1.2	10.1	6.4	10.9	11.6	11.4	12.8	10.3	11.1	15.0	
		CBI輸出受注評価	-33	-13	-20	-21	-19	-20	-21	-28	-13	-23	-10	-17
	供給サイド	生産												
		製造業生産*	0.1	1.7	-1.2	-0.3	-1.5	-0.4	-2.3	-1.9	-2.6	-2.2	-1.4	
		CBI能力以下操業割合	70	60	58	59	60	54	60	-	-	-	-	-
		CBI最終品在庫水準評価	17	11	15	10	17	17	15	13	15	17	19	13
	雇用													
就業者数*	1.0	0.9	0.8	1.0	0.8	0.9	0.6	-	-	-	-	-		
失業率(%)*	3.0	2.7	2.8	2.6	2.7	2.8	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9		
輸入	1.2	6.3	9.7	8.5	8.1	11.5	10.7	7.4	11.2	13.3	13.1			
国際収支	経常収支(10億£)	-16	-23		-7	-1	-10		-	-	-	-	-	
	貿易収支(10億£)*	-48	-60	-66	-16	-16	-17	-17	-5	-6	-6	-6		
物価	製造業生産者物価	1.5	2.5	2.8	2.7	2.8	3.1	2.5	2.6	2.3	2.4	2.9	2.9	
	消費者物価	1.3	1.4	2.1	1.7	2.0	2.4	2.1	2.3	2.1	2.0	1.9	2.0	
	ハリファクス住宅価格指数	18.9	18.8	5.4	10.0	3.8	3.1	5.1	4.0	4.5	5.2	5.2	5.6	
	単位労働コスト*	3.2	2.1		3.3	3.6	4.0		-	-	-	-	-	
	平均実収	3.4	4.3	4.1	4.5	4.0	4.1	3.5	3.1	3.4	4.1	3.1		
金融	マネーサプライ(M4)	7.2	8.8	12.4	10.4	10.3	10.9	12.4	11.2	11.8	12.4	11.6		
	3ヶ月物銀行間金利(%)	3.69	4.59	4.70	4.86	4.84	4.56	4.56	4.52	4.57	4.58	4.55	4.53	
	10年物国債金利(%)	4.47	4.86	4.41	4.66	4.43	4.26	4.29	4.34	4.32	4.22	4.08	4.17	
	株価(FT100)	4051	4522	5159	4928	4956	5311	5436	5293	5458	5552	5707	5807	
	為替相場(ドル/£)	1.63	1.83	1.82	1.89	1.86	1.78	1.75	1.76	1.73	1.75	1.77	1.75	
	実効相場(90=100)	100.2	104.1	103.3	102.9	104.3	103.0	103.2	103.1	103.2	103.3	102.7	102.8	
実効相場(前年比)	-5.5	3.9	-0.7	-1.2	-0.9	-1.7	0.8	0.9	1.4	0.2	0.6	-0.4		

(出所) Datastream (注) 原則として数字は前年同期比; % \*は季調値。